

至 仏 山 山 行 記 録



小至仏トラバースより

山頂にて

山ノ鼻へ下りる

目的地	仏至山	期 日	平成21年5月4日 (祝)・曇
山人	笠原正雄、伴場ちづ子、清水良次、増田	特 記	残雪期初めての入山、11日からは登山道閉鎖

地 点 名	時 刻	記 事
与 板 発	午前 4:00	谷川岳 P A で水を汲み、沼田 IC 出口コンビニで待ち合わせ。
沼 田 I C	6:00	白沢道の駅・望郷の湯で一台に乗り合わせる。道の駅 P は朝も早いにも拘わらず満車に近い。鳩待峠まで車規制なし。
鳩 待 峠 P	7:50 発	スキーヤー・ボーダー等で予想以上に賑わっている。駐車料金 2,500 円。山ノ鼻への入口にある看板から左に入り、雪の上を歩く。殆どが空荷の男女約 10 人隊に先行する。広い尾根歩きだが、樹林の赤布を見落とさぬように進む。
薄 陽 差 す	8:30	緩やかな登りから少し急登に入る。ここに来て尾瀬ヶ原が見えて来た。燧ヶ岳も霞んではいるが、しっかり分かる。
頂 が 見 え た	8:35	樹々の丈が低くなり、小至仏・至仏と見える。いずれも頂の雪が剥げている。
オヤマ沢田代の上	9:15~9:25	前記から再び大樹の中を進み、森林限界を抜け出す。ここで休む。着いたときは尾瀬ヶ原を見下ろせたが、しばらくするとガスで見えなくなった。カッターシャツを重ね着する。歩き出して間もなくすると再び尾瀬ヶ原が見えて来た。オヤマ沢田代付近に「鳩待峠への下山路は迷い易い……」の注意喚起看板が立っていた。
鞍 部	9:45	小至仏は雪の着いた東斜面をトラバース。鞍部に来ると十数人が休んでいる。今度はシャツを脱ぐ。山頂を目指すものも何人か見える。
至 仏 山 頂	10:05~10:30	30人位の人で賑わっている。東面登山道からの上山者もやって来る。ゴロゴロ岩が露出している。ひとしきり過ごした後、直下が雪だったのでピッケルに持ち替えて下山する。ところが数分もしないうちに木階段が出ていた。
再 び 雪 を 下 る	10:40	木階段を雪が覆い、トレースを無視してやや急斜面を直降下する。
鎖 の 岩 場	10:50	融雪水が流れてここだけ雪から出ていた。雪が緩んで、木階段との間に空洞が出来ていて深く抜かる所がある。山ノ鼻の建物が見えている。左方向に進路を振って下る。樹林帯に入り、トレースを拾いながら進む。
山 ノ 鼻	11:25~12:15	平らに降り、樹林を抜け湿原端の登山口看板前が出る。燧ヶ岳を正面に見て歩き小屋前に着く。ここも大勢の人々で華やいでいた。向かいの休憩舎のテーブルベンチで昼食を摂る。
鳩 待 峠	午後 1:15	露出木道と残雪を交互に登りスタート地点に戻る。年配者や親子連れ等を追い抜いて登って来たが、この時間でもまだ山ノ鼻へ下る人々と交差する。
帰 路	3:00	白沢道の駅に戻り、3人は高速上り線の渋滞を考慮してそのまま帰宅すると言う。それにならって、入浴は混雑が予想されるのですぐに帰ることとした。直売所で千本ネギとコンニャクを買う。
帰 宅	5:00	谷川岳下り線 P の水汲み場には行列が出来ていた。

4月29日の火打山では、同3人も一緒だった。その際、彼らから5月4~6日に北アルプス燕岳〜蝶ヶ岳方面の山行計画を聞いた。同行を5月に入ってから申し出た。ところが天気予報が良くない。そこで急遽至仏山の日帰りとなった。

10年前の7月1日に6人でこの山を目指し、鳩待峠まで来た。まだ残雪があったのだが、その雪層が薄く植生保護のため入山禁止だった。やむを得ずアヤマ平をめぐるて竜宮十字路に下りて山ノ鼻に泊まったことがある。そして翌日は雨降りとなり、「華厳の滝」見物をして帰って来た。

3度目の山頂だが、晴れになったことがない。今回もそうであったが、それでも尾瀬ヶ原と燧ヶ岳を見ることが出来た。例年であればもっと雪が多いと思われる。東面を滑り降りるスキーヤーもいたが、苦労だったであろう。

5月11日~6月30日まで ⇒

至仏山登山道閉鎖

積雪の除去等のため、次のとおり至仏山登山道を閉鎖します。
ご協力をお願いいたします。

期 間 平成21年5月4日(祝)・曇
平成21年5月5日(月)・曇
平成21年5月6日(火)・曇(5月30日は予定)

区 間 鳩待峠から至仏山、至仏山から山ノ鼻、山ノ鼻から至仏山

積雪状況によっては、閉鎖範囲が変更される可能性があります。

注 意 鳩待峠から至仏山、至仏山から山ノ鼻のルートは積雪が除去される前に通行はできませんのでご注意ください。
*閉鎖期間中は至仏山登山道の山ノ鼻から至仏山までの間は通行しにくくなります。午後になると積雪が厚くなります。

至仏山保全対策委員会
【問い合わせ先】事務局 (財)至仏山登山道管理センター TEL: 027-328-4431
E-mail: info@zobutsu-mountain.jp